



# 水について考えてみよう



はいたい。暑い夏ですが、いかがお過ごしでしょうか。

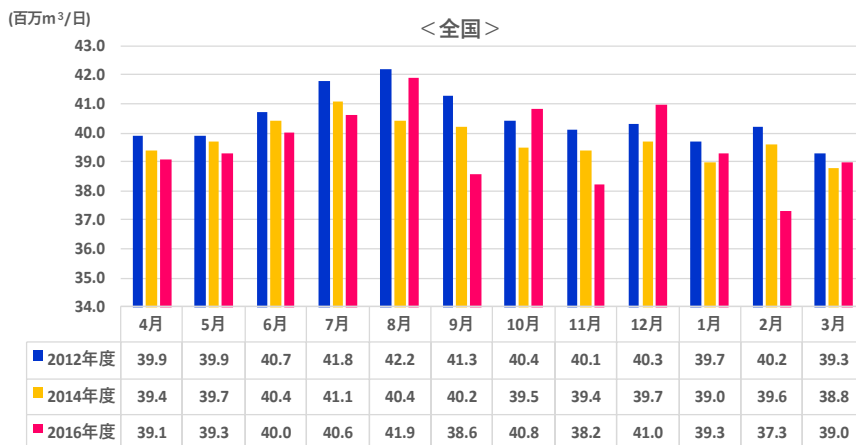
8月1日は「水の日」です。

「水の日」は、水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について国民の関心を高め、理解を高めるため、昭和52年(1977年)に現在の国土交通省が制定しました。水の日(8月1日)を初日とする一週間は「水の週間」とされています。

今回は「水」について調べてみました。

沖縄で水道らしいものが現れたのは、明治16年(1883年)から明治17年(1884年)頃で琉球王朝時代からの船舶の補給用に利用されたという「落樋樋川(ウティンダヒージャー)」(現在の山下町に位置した)という湧き水の水を土管で引き、一般に給水したのが水道の始まりとされています。

表1 水道の使用量 (上水道事業の月別一日平均給水量)

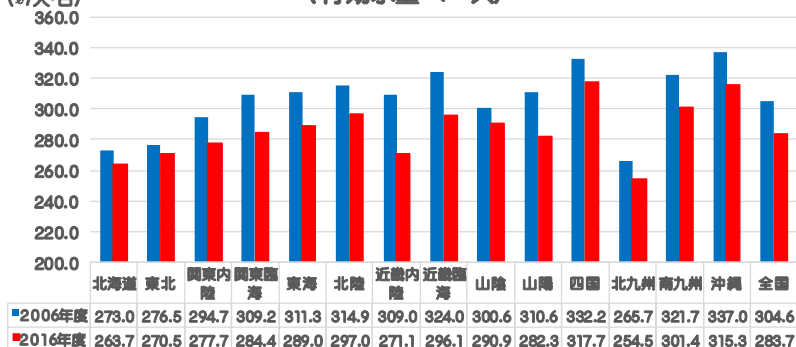


- (注)1 厚生労働省他「水道統計」をもとに国土交通省が水資源部作成
- 2 有効水量ベースである
- 3 このデータには生活用水の他上水道から工場へ供給する水量が含まれている

資料：国土交通省 水管理・国土保全局水資源部 令和元年版「日本の水資源の現況」



表2 生活用水の一人一日平均使用量の推移(地域別) (有効水量ベース)



(注)1 国土交通省水資源部調べ

資料：国土交通省水管理・国土保全局水資源部 令和元年版「日本の水資源の現況」



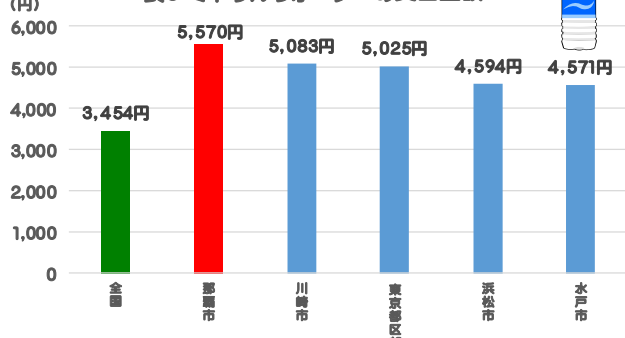
表1は、全国の2012年度、2014年度、2016年度における、月別の1日あたり平均給水量を表しています。

各年度とも、7月から8月の暑い時期に水を多く使用していることがわかります。

次に、生活用水の一人一日平均使用量の推移(表2)をみてみましょう。

生活用水には、家庭用水と都市活動用水があり、家庭用水は一般家庭の飲用水、調理、洗濯、風呂、掃除、水洗トイレ、散水などに使われており、都市活動用水は飲食店、デパート、ホテル等の営業用水、公園の噴水、公衆トイレなどに使われています。地域別に比べると沖縄の使用量は比較的多いことがわかります。

表3 ミネラルウォーターの支出金額



資料：総務省統計局「家計調査結果(二人以上の世帯:平成29年~令和元年平均1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量)」

最後に家計調査の結果(二人以上の世帯:品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング)から「ミネラルウォーター」の支出金額(上位5位)をみてみましょう(表3)。

那覇市は、5,570円と全国平均の3,454円に対し、約1.6倍の支出額で第1位となっています。

水分補給は、熱中症対策に有効です。こまめに水分補給をして、熱中症にならないように気をつけましょう。

わたしたちの生活にとって欠かせない水、これを機会に、水の大切さについて改めて考えてみてはいかがでしょうか。

